(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2012-191991
(P2012-191991A)
(43)公開日　平成24年10月11日(2012.10.11)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A63F 7/02	(2006.01)	A63F 7/02	316Z	2C088

審査請求 有　請求項の数 4　ＯＬ　（全 13 頁）

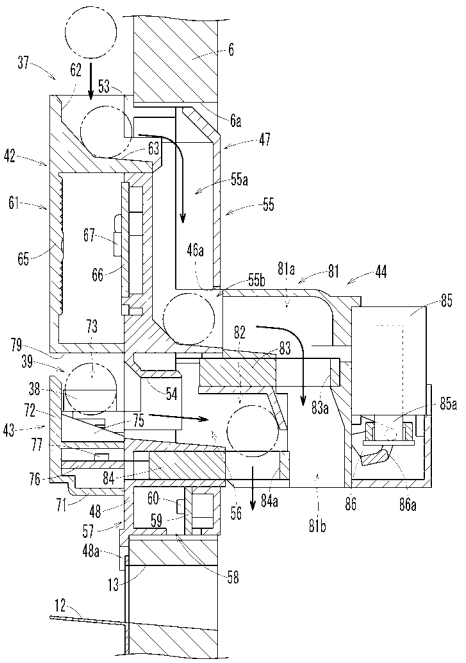
(21)出願番号　特願2011-56583(P2011-56583)
(22)出願日　平成23年3月15日(2011.3.15)

(71)出願人　391010943
株式会社藤商事
大阪府大阪市中央区内本町一丁目１番４号
(74)代理人　100100273
弁理士　谷藤　孝司
(72)発明者　板谷　洋平
大阪市中央区内本町一丁目１番４号　株式会社藤商事内

Ｆターム(参考)　2C088 EA29　EB25

(54)【発明の名称】弾球遊技機

(57)【要約】
【課題】上入球手段と下入球手段とを上下に離して配置しつつ遊技盤の裏側のスペースを有効に活用することが可能な弾球遊技機を提供する。
【解決手段】遊技盤６の前面に沿うベース体４８の前側に配置される上下二つの入球手段３７，３９と、それら入球手段３７，３９に入球した遊技球を夫々遊技盤６の後側に案内する第１，第２案内通路５５，５６とを入球ユニット１７上に設け、下入球手段３９に開閉手段３８を設けた弾球遊技機で、両入球手段３７，３９を上下に離間させると共にそれらの間に装飾部材６１を設け、第１案内通路５５は、上入球手段３７に入球した遊技球を下向きに案内する縦通路部５５ａと、この縦通路部５５ａによって案内されてきた遊技球を遊技盤６の後側に案内する後方通路部５５ｂとを含み、縦通路部５５ａを、その前後方向の略全体が遊技盤６の板厚範囲内となるように装着孔６ａ内に収容したものである。
【選択図】図３



【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技盤に形成された装着孔に着脱自在に装着される入球ユニットを備え、前記入球ユニットは、前記遊技盤の前面に沿って配置されるベース体と、前記ベース体の前側に配置される上入球手段と、前記ベース体の前側で且つ前記上入球手段の下側に配置される下入球手段と、前記上入球手段に入球した遊技球を前記遊技盤の後側に案内する第１案内通路と、前記下入球手段に入球した遊技球を前記遊技盤の後側に案内する第２案内通路とを備え、前記下入球手段は、遊技球の入球を許容する開状態と入球を阻止し又は困難にする閉状態とに切り換え可能な開閉手段を備えた弾球遊技機において、前記上入球手段と前記下入球手段とを上下に離間させて配置すると共に、前記入球ユニット上に、前記上入球手段と前記下入球手段との間に対応して前記ベース体の前側に突出する装飾部材を設け、前記第１案内通路は、前記装飾部材の後側に対応して配置され且つ前記上入球手段に入球した遊技球を下向きに案内する縦通路部と、前記縦通路部の下流側に設けられ且つ前記縦通路部によって案内されてきた遊技球を前記遊技盤の後側に案内する後方通路部とを含み、前記縦通路部は、その前後方向の略全体が前記遊技盤の板厚範囲内となるように前記装着孔内に収容されていることを特徴とする弾球遊技機。
【請求項２】
前記後方通路部を前記第２案内通路の上側近傍に配置したことを特徴とする請求項１に記載の弾球遊技機。
【請求項３】
前記入球ユニットを、遊技領域内の最下部に設けられたアウト口の上側近傍に配置したことを特徴とする請求項１又は２に記載の弾球遊技機。
【請求項４】
前記入球ユニットの左右方向一方側に普通入賞手段を、他方側に大入賞手段を夫々配置したことを特徴とする請求項３に記載の弾球遊技機。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、パチンコ機等の弾球遊技機に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
パチンコ機等の弾球遊技機では、非開閉式の上入球手段と、例えば左右一対の開閉手段を備えた開閉式の下入球手段とを一の入球ユニット上に上下に配置し、例えばそれら上下の入球手段を共に図柄始動手段として遊技領域の下部に配置したものが知られている（例えば特許文献１）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１０－２０７２６６号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
上記のような入球ユニットを搭載した弾球遊技機では、下入球手段への遊技球の入球を確保するという観点からは下入球手段はなるべく遊技領域の下方、例えばアウト口の上側近傍に配置することが望ましいが、この場合、上入球手段と下入球手段とを上下に近接して配置すると、上入球手段、下入球手段及びその側方の普通入賞手段等への三系統の流下経路を確保できるように釘を配置することがスペース的に困難であるという問題がある。
【０００５】
この問題を解決するためには、上入球手段と下入球手段とを上下に離して配置することが考えられるが、この場合、入球ユニットが上下方向に長くなるため、遊技盤の裏側のス

ペースがこの入球ユニットの裏構造によって上下方向に圧迫され、特にこの入球ユニットの上下に配置されるユニットの裏構造の配置が大きく制約を受けるという問題がある。

【０００６】

本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、上入球手段と下入球手段とを上下に離して配置しつつ、遊技盤の裏側への突出部分をできる限り上下方向に小さくすることにより遊技盤の裏側のスペースを有効に活用することが可能な弾球遊技機を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００７】

本発明は、遊技盤６に形成された装着孔６ａに着脱自在に装着される入球ユニット１７を備え、前記入球ユニット１７は、前記遊技盤６の前面に沿って配置されるベース体４８と、前記ベース体４８の前側に配置される上入球手段３７と、前記ベース体４８の前側で且つ前記上入球手段３７の下側に配置される下入球手段３９と、前記上入球手段３７に入球した遊技球を前記遊技盤６の後側に案内する第１案内通路５５と、前記下入球手段３９に入球した遊技球を前記遊技盤６の後側に案内する第２案内通路５６とを備え、前記下入球手段３９は、遊技球の入球を許容する開状態と入球を阻止し又は困難にする閉状態とに切り換え可能な開閉手段３８を備えた弾球遊技機において、前記上入球手段３７と前記下入球手段３９とを上下に離間させて配置すると共に、前記入球ユニット１７上に、前記上入球手段３７と前記下入球手段３９との間に対応して前記ベース体４８の前側に突出する装飾部材６１を設け、前記第１案内通路５５は、前記装飾部材６１の後側に対応して配置され且つ前記上入球手段３７に入球した遊技球を下向きに案内する縦通路部５５ａと、前記縦通路部５５ａの下流側に設けられ且つ前記縦通路部５５ａによって案内されてきた遊技球を前記遊技盤６の後側に案内する後方通路部５５ｂとを含み、前記縦通路部５５ａは、その前後方向の略全体が前記遊技盤６の板厚範囲内となるように前記装着孔６ａ内に収容されているものである。

【０００８】

また、前記後方通路部５５ｂを前記第２案内通路５６の上側近傍に配置してもよい。

【０００９】

また、前記入球ユニット１７を、遊技領域７内の最下部に設けられたアウト口１３の上側近傍に配置してもよい。

【００１０】

また、前記入球ユニット１７の左右方向一方側に普通入賞手段３６を、他方側に大入賞手段３２を夫々配置してもよい。

【発明の効果】

【００１１】

本発明によれば、入球ユニット１７における遊技盤６の裏側への突出部分の上下方向寸法を、上入球手段３７と下入球手段３９とを上下に近接して配置する場合と同程度に小さくでき、遊技盤６の裏側のスペースを有効に活用することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１２】

【図１】本発明の一実施形態を示すパチンコ機の全体正面図である。
【図２】同パチンコ機の下部入賞ユニット及びその周辺の拡大正面図である。
【図３】同パチンコ機の下部入賞ユニット及びその周辺の側面断面図である。
【図４】同パチンコ機の下部入賞ユニットの正面断面図である。
【図５】同パチンコ機の下部入賞ユニットの斜視図である。
【図６】同パチンコ機の下部入賞ユニットの分解斜視図である。
【図７】同パチンコ機の下部入賞ユニットの分解斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【００１３】

以下、本発明の実施形態を図面に基づいて詳述する。図１～図７は本発明をパチンコ機

に採用した一実施形態を例示している。図１において、遊技機本体１は、矩形状の外枠２と、この外枠２の前側に開閉自在に枢着された前枠３とを備えている。前枠３の前側には、ガラス扉４と前面板５とが上下に配置され、共に前枠３に開閉自在に枢支されている。

【００１４】

ガラス扉４は前枠３に着脱自在に装着された遊技盤６の前側を覆うもので、遊技盤６の前面側に形成された遊技領域７を透視可能なガラス窓８が設けられている。前面板５は前枠３の下部に配置された発射手段９等を前側から覆うもので、発射用の遊技球を貯留する供給皿１０、発射手段９を作動させる発射ハンドル１１等が前側に設けられている。

【００１５】

遊技盤６は、例えば前枠３に対して前側から着脱自在に装着され、その前面側には、発射手段９により発射された遊技球を案内するガイドレール１２が環状に配置されており、そのガイドレール１２の内側が遊技領域７となっている。遊技領域７内には、その最下部にアウト口１３が形成されると共に、センターユニット１４、右入賞ユニット１５、左入賞ユニット１６、下部入賞ユニット１７等が着脱自在に装着されている。

【００１６】

センターユニット１４は、例えば遊技領域７の中央上部寄りの位置に配置されており、その略中央に液晶ディスプレイ等よりなる画像表示手段２１が配置されると共に、例えば画像表示手段２１を取り囲む表示枠２２上に、普通図柄表示手段２３、第１特別図柄表示手段２４、第２特別図柄表示手段２５等の表示手段の他、表示枠２２の側方に向けて開口するワープ入口２６に入球した遊技球を画像表示手段２１の下側で左右に転動させて中央落下部２７又はその左右両側から遊技盤６の前側に落下させるステージ２８等が設けられている。画像表示手段２１は、演出図柄表示手段２９等を構成している。

【００１７】

右入賞ユニット１５は、普通図柄始動手段３１、大入賞手段３２、普通入賞手段３３、遊技球誘導部３４等を備え、遊技領域７の右下部にガイドレール１２の内側に沿って配置されている。普通図柄始動手段３１は、例えば通過ゲートにより構成されており、その下流側（下側）に、開閉板３５を備えた大入賞手段３２が配置されている。開閉板３５は、例えば下部側の横軸廻りに揺動することにより、遊技盤６の前面と略面一となる閉状態と、遊技盤６の前側にせり出して斜め上向きとなる開状態とに切り換え可能に構成されており、開状態となったとき、上部側から落下してきた遊技球を受けて内側に入賞させるようになっている。

【００１８】

遊技球誘導部３４は、例えば大入賞手段３２等の下側に配置され、大入賞手段３２等に入賞しなかった遊技球を、ガイドレール１２よりも上側で遊技領域７の中央側（左側）に案内するように例えば左下がりの傾斜状に形成されている。左入賞ユニット１６は、遊技領域７の左下部にガイドレール１２の内側に沿って配置されており、例えば普通入賞手段３６が複数設けられている。

【００１９】

下部入賞ユニット（入球ユニット）１７は、第１特別図柄始動入賞手段（上入球手段）３７と第２特別図柄始動入賞手段（下入球手段）３９とを上下に備え、例えば遊技領域７の中央下部、即ちセンターユニット１４とその下側のアウト口１３との間に配置されている。上側の第１特別図柄始動入賞手段３７は非開閉式の入賞手段であり、下側の第２特別図柄始動入賞手段３９は、左右両側からの遊技球の入賞を許容する開状態と入賞を阻止する閉状態とに切り換え可能な左右一対の開閉爪（開閉手段）３８を有する開閉式の入賞手段となっている。

【００２０】

なお、上側の第１特別図柄始動入賞手段３７は、例えばステージ２８の中央落下部２７の真下に配置されており、この中央落下部２７から落下した遊技球が高い確率で入賞するようになっている。また、遊技領域７内には、各ユニット１４～１７等を避けて多数の遊技釘４０が配置されている。

【００２１】
普通図柄表示手段２３は、普通図柄を変動表示するためのもので、例えば「○」「×」の２種類の普通図柄に対応する２個の発光体（例えばＬＥＤ）により構成されており、普通図柄始動手段３１が遊技球を検出することを条件にそれら２つの発光体が所定時間交互に点滅して、普通図柄始動手段３１による遊技球検出時に取得された当たり判定乱数値が予め定められた当たり判定値と一致する場合には当たり態様に対応する「○」側の発光体が点灯し、それ以外の場合には外れ態様に対応する「×」側の発光体が点灯して停止するようになっている。普通図柄表示手段２３が当たり態様で停止すると普通利益状態が発生し、第２特別図柄始動入賞手段３９の開閉爪３８が所定時間、所定回数だけ開放する。

【００２２】
第１，第２特別図柄表示手段２４，２５は、夫々１個又は複数個、例えば各１個の第１，第２特別図柄を変動表示可能な７セグメント式等の表示手段により構成されており、第１特別図柄表示手段２４は第１特別図柄始動入賞手段３７に、第２特別図柄表示手段２５は第２特別図柄始動入賞手段３９に夫々遊技球が入賞することを条件に、第１，第２特別図柄が所定時間変動して、第１，第２特別図柄始動入賞手段３７，３９の遊技球入賞時に取得された乱数値が予め定められた大当たり判定値と一致した場合に所定の大当たり態様で、それ以外の場合に外れ態様で停止するようになっている。第１，第２特別図柄表示手段２４，２５の何れかが大当たり態様で停止すると特別利益状態が発生し、大入賞手段３２の開閉板３５が所定の開放パターンに従って開放して、その上に落下してきた遊技球を内部へと入賞させるようになっている。

【００２３】
なお本実施形態では、ワープ入口２６が遊技領域７の左側に設けられている他、遊技釘４０の配置等により、第１特別図柄始動入賞手段３７については遊技領域７の右側を狙って発射するいわゆる右打ちよりも左打ちの方が入賞率が高く、また第２特別図柄始動入賞手段３９に対応する遊技球誘導部３４が遊技領域７の右側に設けられている他、遊技釘４０の配置等により、第２特別図柄始動入賞手段３９については左打ちよりも右打ちの方が入賞率が高くなっている。

【００２４】
また、例えば特別利益状態中は第１特別図柄、第２特別図柄は何れも変動せず、また第１，第２特別図柄の一方が変動中の場合には他方は変動しないように制御される。また各特別図柄の始動検出は所定の上限数（例えば４）まで保留可能であり、両方に１以上の保留がある場合には、例えば第２特別図柄表示手段２５の図柄変動が優先されるようになっている。

【００２５】
演出図柄表示手段２９は、例えば第１，第２特別図柄と同期して演出図柄を変動表示するもので、１個又は複数個、例えば左右方向に３個の演出図柄を各種の演出画像と共に画像表示手段２１の表示画面に変動表示可能に構成されている。演出図柄の変動後の停止図柄は、例えば第１，第２特別図柄が大当たり態様で停止する場合には全てが揃う大当たり演出態様となり、第１，第２特別図柄が外れ態様で停止する場合には少なくとも一部が異なる外れ演出態様となる。

【００２６】
また、大入賞手段３２が開放する特別利益状態の発生後には、例えば時短状態と確変状態との何れかの特別遊技状態が発生するようになっている。時短状態中は、第１，第２特別図柄に関して、第１，第２特別図柄表示手段２４，２５の変動時間が夫々通常変動時間よりも短い短縮変動時間に切り換えられる他、普通図柄に関して、当たり確率が通常確率（例えば１／１０）から高確率（例えば１／１．３）へ、変動時間が通常変動時間（例えば２７秒）から短縮変動時間（例えば２．７秒）へ、第２特別図柄始動入賞手段３９の開閉パターンが通常開閉パターン（例えば０．２秒×１回開放）から延長開閉パターン（例えば２秒×３回開放）へ、夫々切り換えられるようになっている。なお、時短状態は例えばその開始後に第１，第２特別図柄が所定回数（例えば５０回）変動した時点で終了する

。
【００２７】
確変状態中は、それ以外の通常確率状態中よりも大当たり判定値の数が増加することにより、第１，第２特別図柄が大当たり態様となる確率が通常確率（例えば１／３５０）よりも高い高確率（例えば１／３５）に切り換えられるようになっている。また、確変状態中は、例えば時短状態と同様の処理も併せて行われる。
【００２８】
更に本実施形態では、第１特別図柄側で大当たり態様となった場合よりも第２特別図柄側で大当たり態様となった場合の方が、特別利益状態において開放ラウンド数の多い開放パターンが高い確率で選択される等、第１特別図柄側で大当たり態様となるよりも第２特別図柄側で大当たり態様となる方が遊技者にとって有利な設定となっている。
【００２９】
従って、遊技者としては遊技開始当初から第２特別図柄表示手段２５を変動させるべく普通図柄始動手段３１及び第２特別図柄始動入賞手段３９を狙って右打ちをしたいところであるが、通常遊技状態中は普通図柄が当たりとなっても第２特別図柄始動入賞手段３９が開放される時間は僅かであり、入賞は期待できない。そこで、まずは特別遊技状態を発生させるべく第１特別図柄始動入賞手段３７を狙って左打ちをし、大当たりとなった場合には大入賞手段３２を狙って右打ちに切り換え、続いて発生する特別遊技状態中も右打ちを継続することにより、開放時間が長くなった第２特別図柄始動入賞手段３９への入賞を狙うのが最も効率的な遊技の進め方である。
【００３０】
続いて、下部入賞ユニット（入球ユニット）１７の構成を詳細に説明する。下部入賞ユニット１７は、図２～図７に示すように、ユニット本体４１、このユニット本体４１の上部前側に装着され且つ第１特別図柄始動入賞手段３７等を構成する上部前飾り部材４２、ユニット本体４１の下部前側に装着され且つ第２特別図柄始動入賞手段３９等を構成する下部前飾り部材４３、ユニット本体４１と下部前飾り部材４３との間に配置され且つ第２特別図柄始動入賞手段３９を構成する左右一対の開閉爪３８、ユニット本体４１の後側に装着される後部ユニット４４等を備え、遊技盤６に形成された板厚方向貫通状の装着孔６ａ（図３）に対して前側から着脱自在に装着されている。
【００３１】
ユニット本体４１は、前部材４５と後部材４６とを前後に結合することにより形成されており、前部材４５と後部材４６とに跨って設けられ且つ遊技盤６の装着孔６ａ内に嵌合する通路ケース部４７と、前部材４５側に設けられ且つ遊技盤６の前面に沿って配置される例えば平板状のベース板（ベース体）４８とを備え、ベース板４８の外縁部、即ち通路ケース部４７よりも外側に張り出した鍔状部４８ａを遊技盤６の前面側に当接させた状態で遊技盤６に例えばねじ止め固定されている。
【００３２】
ベース板４８は、正面視左右対称形で、例えば上部側よりも下部側の方が幅広に形成されており、底辺上にはアウト口１３に対応する切欠部５１が、上下方向中間部分には内向きに凹入する左右一対の凹入部５２が夫々設けられている。またベース板４８には、例えばその上端部に、前側の第１特別図柄始動入賞手段３７に入賞した遊技球を後ろ向きに通過させるための例えば切欠状の第１通路孔５３が設けられ、また下部側には、前側の第２特別図柄始動入賞手段３９に入賞した遊技球を後ろ向きに通過させるための例えば開口状の第２通路孔５４が、上側の第１通路孔５３との間に所定の間隔を空けて設けられている。なお、左右一対の凹入部５２は、第１通路孔５３と第２通路孔５４との上下方向略中間位置に対応して設けられている。
【００３３】
通路ケース部４７は、ベース板４８の形状に合わせて例えば上部側よりも下部側が幅広の正面視略三角形状に形成され、図３に示すように、装着孔６ａに嵌合した状態で遊技盤６の板厚範囲内に略収まる前後幅に形成されており、第１特別図柄始動入賞手段３７に入

賞した遊技球を遊技盤６の後側に案内する第１案内通路５５と、第２特別図柄始動入賞手段３９に入賞した遊技球を遊技盤６の後側に案内する第２案内通路５６と、ベース板４８の少なくとも一部に形成される発光レンズ部５７を発光させるための電飾ケース部５８とを備えている。

【００３４】

第１案内通路５５は、図３に示すように、第１通路孔５３を通過した遊技球を下向きに案内する縦通路部５５ａと、この縦通路部５５ａの下流側に設けられ且つ縦通路部５５ａにより案内されてきた遊技球を、第２通路孔５４の上側で後ろ向きに案内する後方通路部５５ｂとを備えている。縦通路部５５ａは、その前後方向の略全体が遊技盤６の板厚範囲内となるように装着孔６ａ内に収容されている。また、第２案内通路５６は、第２通路孔５４を通過した遊技球を後ろ向きに案内するように例えば第１案内通路５５の後方通路部５５ｂの下側に配置されている。

【００３５】

なお、後部材４６には、後部ユニット４４が嵌合する前後方向の後部ユニット嵌合孔４６ａが形成されており、第１案内通路５５及び第２案内通路５６の下流側端部（後端部）は共にその後部ユニット嵌合孔４６ａ内で後ろ向きに開放している。

【００３６】

電飾ケース部５８は、ベース板４８側の発光レンズ部５７の後側に対応して、例えば第２案内通路５６の左右両側から下側にかけての略Ｕ字状の空間を形成しており、その内側には電飾基板５９がＬＥＤ６０の装着面を前側に向けた状態で装着されている。

【００３７】

上部前飾り部材４２は、第１特別図柄始動入賞手段３７と装飾部材６１とを上下に一体に備え、第１特別図柄始動入賞手段３７が第１通路孔５３の前側に対応するようにベース板４８の前側に着脱自在に固定されている。第１特別図柄始動入賞手段３７は、ベース板４８の前側で上向きに開口する第１入賞口６２と、この第１入賞口６２に入球した遊技球をその後側の第１通路孔５３側に案内する入賞案内樋６３とを備えている。この入賞案内樋６３は、その後端側が第１通路孔５３を後ろ向きに貫通して第１案内通路５５の上端側に連通している。

【００３８】

装飾部材６１は、ベース板４８の前面に対して一定幅で略垂直に立設され且つ第１特別図柄始動入賞手段３７の下側の一定領域を取り囲むように配置される周壁部６４と、その周壁部６４の前縁部内側を覆う前壁部６５とで構成されている。周壁部６４は、その上部側左右に設けられた一対の外案内部６４ａと、下部側中央に設けられた底壁部６４ｂと、下部側左右に設けられた一対の内案内部６４ｃとを備えている。

【００３９】

外案内部６４ａは、第１特別図柄始動入賞手段３７の左右両側から例えばベース板４８の凹入部５２の縁部にかけて夫々斜め下向きに配置された正面視ハの字状の傾斜面で、第１特別図柄始動入賞手段３７の側方を流下した遊技球を左右方向外向きに案内するようになっている。底壁部６４ｂは、第２通路孔５４の上側近傍に配置されており、第２特別図柄始動入賞手段３９の上側を規制している。

【００４０】

内案内部６４ｃは、底壁部６４ｂの左右両側から例えばベース板４８の凹入部５２の縁部にかけて夫々斜め上向きに配置された正面視逆ハの字状の傾斜面で、遊技球を第２特別図柄始動入賞手段３９側に案内するようになっている。なお、外案内部６４ａと内案内部６４ｃとの間には、それらの左右方向外側端部同士をベース板４８の凹入部５２の縁部に沿って上下に連結する一対の中間案内部６４ｄが設けられている。

【００４１】

また、上部前飾り部材４２とユニット本体４１との間には、装飾部材６１の内側に対応して電飾基板６６がＬＥＤ６７の装着面を前側に向けた状態で装着されている。なお、装飾部材６１は例えばその全体が発光レンズ部を構成しており、内面側には乱反射加工が施

されている。

【００４２】

下部前飾り部材４３は、第２通路孔５４の下側に対応する底壁部７１と、第２通路孔５４の前側に対応して底壁部７１の前縁側から上向きに立設される前壁部７２とを一体に備え、ベース板４８の前側に着脱自在に固定されている。

【００４３】

第２特別図柄始動入賞手段３９は、下部前飾り部材４３の底壁部７１と上部前飾り部材４２の装飾部材６１との間で左右に開口する一対の第２入賞口７３と、ベース板４８と下部前飾り部材４３の前壁部７２との間に配置され且つ前後方向の回転軸７４廻りに揺動して第２入賞口７３を開閉する左右一対の開閉爪３８と、例えば下部前飾り部材４３の底壁部７１上に設けられ且つ開状態の開閉爪３８に案内されて第２入賞口７３に入賞した遊技球を第２通路孔５４側、即ち後側に案内する例えば後ろ下がりの入賞案内部７５とを備えている。

【００４４】

開閉爪３８は、その一端側が回転軸７４により回転自在に支持されており、閉状態では先端部が装飾部材６１の底壁部６４ｂに近接するように起立して第２入賞口７３を閉鎖し（図２に二点鎖線で示す）、開状態では正面視逆ハの字状となって、第２入賞口７３を開放すると共に、その開状態で上面となる案内面３８ｂと装飾部材６１側の内案内部６４ｃとの間に内下がりの案内通路７８を形成して遊技球を第２入賞口７３側に案内するようになっている。

【００４５】

なお、案内通路７８は、図２，図４等に示すように左右方向外側（開閉爪３８の先端側）よりも内側（開閉爪３８の根元側）の方が狭く、しかも徐々に狭くなるように上下両側（内案内部６４ｃと案内面３８ｂ）が共に正面視直線状に形成されている。また、左右の案内通路７８の内側上部には、入賞球を衝突させて減速させると共に下向きに案内する球減速手段７９が設けられている。この球減速手段７９は、装飾部材６１における底壁部６４ｂの左右方向中央に下向き突出状に設けられ、例えば正面視円弧状に形成されている。

【００４６】

また、下部前飾り部材４３の底壁部７１内には、例えば入賞案内部７５の下側に対応して電飾基板７６がＬＥＤ７７の装着面を上側に向けた状態で装着されている。なお、底壁部７１及びその上側の開閉爪３８がＬＥＤ７７によって発光する発光レンズ部を構成しており、それらの例えば内面側には乱反射加工が施されている。

【００４７】

後部ユニット４４は、第１特別図柄始動入賞手段３７に入賞し、第１案内通路５５によって案内されてきた遊技球を遊技盤６の後側で下向きに排出する第１排出通路８１と、第２特別図柄始動入賞手段３９に入賞し、第２案内通路５６によって案内されてきた遊技球を遊技盤６の後側で下向きに排出する第２排出通路８２と、第１排出通路８１を通過する遊技球を検出する第１入賞検出スイッチ８３と、第２排出通路８２を通過する遊技球を検出する第２入賞検出スイッチ８４と、開閉爪３８を駆動する開閉駆動手段８５と、開閉駆動手段８５の駆動部８５ａの動作を開閉爪３８に伝達する駆動アーム８６とを備え、第１排出通路８１が第１案内通路５５に、第２排出通路８２が第２案内通路５６に夫々連通するように、ユニット本体４１の後部ユニット嵌合孔４６ａに後側から嵌合した状態で例えば前部材４５に対して着脱自在に固定されている。

【００４８】

なお、上述したようにユニット本体４１側の通路ケース部４７は遊技盤６の板厚範囲内に略収まっているため、下部入賞ユニット１７を遊技盤６に装着したとき、図３に示すようにこの後部ユニット４４のみが遊技盤６の後側に突出した状態となる。

【００４９】

第２排出通路８２は、図３に示すように遊技盤６の背面に沿って下向きに設けられている。また、第２入賞検出スイッチ８４は、その一端側に設けられた検出孔８４ａが第２排

出通路８２と一致し、他端側がその前側で第２案内通路５６の下側に収容されるように配置されている。

【００５０】

第１排出通路８１は、図３に示すように第１案内通路５５により案内されてきた遊技球を後ろ向きに案内する後方通路部８１ａと、この後方通路部８１ａの下流側に設けられ且つ後方通路部８１ａによって案内されてきた遊技球を例えば第２排出通路８２の後側で下向きに案内する縦通路部８１ｂとを備えている。また、第１入賞検出スイッチ８３は、その一端側に設けられた検出孔８３ａが第１排出通路８１の縦通路部８１ｂと一致し、他端側がその前側で第２排出通路８２と第１排出通路８１の後方通路部８１ａとの間に収容されるように配置されている。

【００５１】

開閉駆動手段８５は例えば電磁ソレノイドにより構成されており、例えば駆動部８５ａを下向きにした状態で第１排出通路８１の後側に着脱自在に固定されている。駆動アーム８６は、例えば第１，第２排出通路８２の左右両側に前後方向に配置され、左右方向の軸８７廻りに揺動自在に支持されている。駆動アーム８６は、その後端部８６ａが開閉駆動手段８５の駆動部８５ａに、前端部８６ｂが開閉爪３８の係合突起３８ａに夫々係合しており、駆動部８５ａの上下動に伴って左右方向の軸廻りに揺動して開閉爪３８を開閉させるようになっている。

【００５２】

以上のように、本実施形態の下部入賞ユニット１７では、第１特別図柄始動入賞手段３７と第２特別図柄始動入賞手段３９とを上下に大きく離間させているが、上側の第１特別図柄始動入賞手段３７に入賞した遊技球を遊技盤６の後側に案内する第１案内通路５５は、装飾部材６１の後側に対応して配置され且つ第１特別図柄始動入賞手段３７に入賞した遊技球を下向きに案内する縦通路部５５ａと、この縦通路部５５ａの下流側に設けられ且つ縦通路部５５ａによって案内されてきた遊技球を遊技盤６の後側に案内する後方通路部５５ｂとで構成されており、しかも縦通路部５５ａは、その前後方向の略全体が遊技盤６の板厚範囲内となるように装着孔６ａ内に収容されており、また後方通路部５５ｂは、下側の第２特別図柄始動入賞手段３９に入賞した遊技球を遊技盤６の後側に案内する第２案内通路５６の上側近傍に配置されている。これにより、遊技盤６の後側に突出する後部ユニット４４の上下方向寸法を、第１特別図柄始動入賞手段３７と第２特別図柄始動入賞手段３９とを上下に近接して配置する場合と同程度に小さくでき、遊技盤６の裏側のスペースを有効に活用することができる。

【００５３】

また、遊技領域７内における例えば下部入賞ユニット１７の左側で左入賞ユニット１６の上側の領域には、遊技釘４０の配列により、第１特別図柄始動入賞手段３７、第２特別図柄始動入賞手段３９、普通入賞手段３６への３系統の誘導経路を確保する必要があるが、本実施形態では、下部入賞ユニット１７上の第１特別図柄始動入賞手段３７と第２特別図柄始動入賞手段３９とを上下に十分に離間させて配置しているため、第２特別図柄始動入賞手段３９への誘導経路の位置を上げてその下側のスペースに普通入賞手段３６への誘導経路を確保することが可能である（図１）。

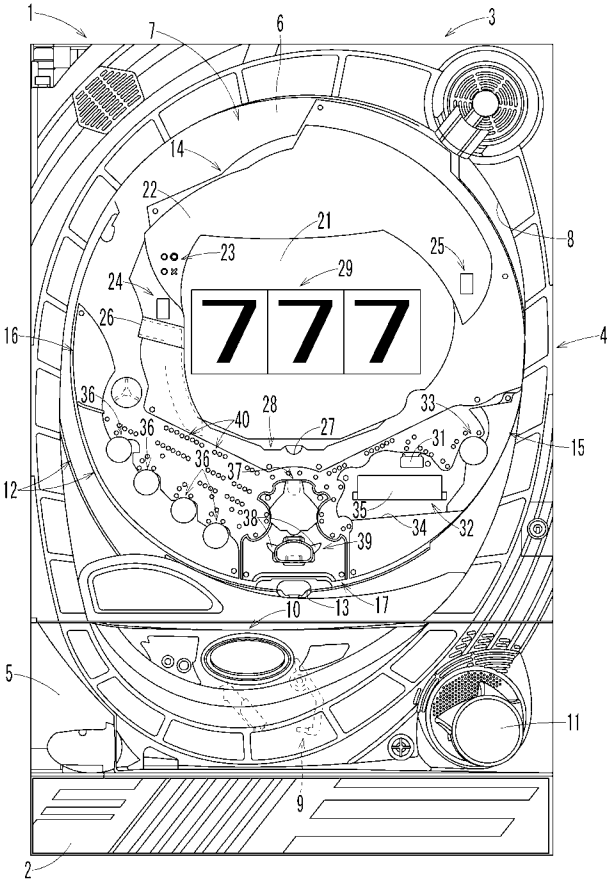
【００５４】

また、下部入賞ユニット１７の周辺部では、図２に示すように、ベース板４８に形成された左右一対の凹入部５２内にも遊技釘４０が配置されている。この凹入部５２内の遊技釘４０は、装飾部材６１の外案内部６４ａに沿って流下する遊技球が凹入部５２内の領域に向けて通過可能な第１の隙間８８ａと、凹入部５２内から第２特別図柄始動入賞手段３９側に向けて遊技球が通過可能な第２の隙間８８ｂとを少なくとも確保しつつ、例えば凹入部５２の縁部に沿って複数配置されている。本実施形態では、外案内部６４ａの下流側近傍、即ち中間案内部６４ｄの近傍に例えば２本の遊技釘４０ａが、開閉爪３８が開状態となったときの先端部に対応する位置に例えば１本の遊技釘４０ｂが夫々配置されており、それら遊技釘４０ａ，４０ｂにより、外案内部６４ａによって案内されてきた遊技球を

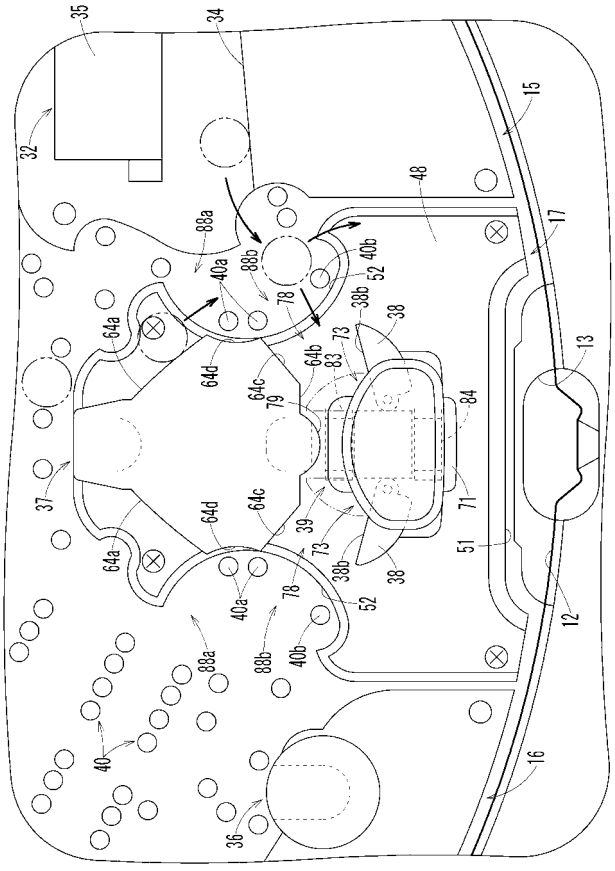
開状態の第２特別図柄始動入賞手段３９側とそれ以外とに振り分け可能となっている。
【００５５】
更に、右入賞ユニット１５側の遊技球誘導部３４は、その下流端側が凹入部５２の一側（右側）に位置しており、この遊技球誘導部３４上に落下した遊技球は凹入部５２内の領域に誘導されるようになっている。
【００５６】
これにより、第１特別図柄始動入賞手段３７に入賞することなくその側方を流下する遊技球は、外案内部６４ａによって左右方向外向きに案内されて凹入部５２内、即ち第２特別図柄始動入賞手段３９の上流側近傍に達し、ここで遊技釘４０ａ，４０ｂ等に弾かれることにより、開放中の第２特別図柄始動入賞手段３９に入賞するか又は入賞することなく落下してアウト口１３から排出される。このように、第２特別図柄始動入賞手段３９に入賞する遊技球の殆ど又は全てが凹入部５２内の領域を経由するように構成することにより、凹入部５２内に配置されている遊技釘４０ａ，４０ｂの釘調整によって第２特別図柄始動入賞手段３９への入賞率を容易に調整することが可能である。
【００５７】
以上、本発明の実施形態について詳述したが、本発明はこれらの実施形態に限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々の変更が可能である。例えば、第２特別図柄始動入賞手段（下入球手段）３９に設けられる開閉手段３８は、閉状態で入球を完全に阻止するものに限らず、例えば入球を困難にするものであってもよい。また、開閉手段３８は、前後方向の軸廻りに揺動する開閉爪に限られるものではなく、例えば開状態で遊技盤６の前側に突出し、閉状態で後側に退避するように前後方向にスライド又は揺動可能な構成としてもよい。
【００５８】
第１案内通路５５の縦通路部５５ａは、その後部側が遊技盤６の背面より後方に若干突出してもよい。若干突出する程度であれば遊技盤６の裏側のスペースを大きく圧迫することはないからである。
【００５９】
第１案内通路５５の縦通路部５５ａを例えば遊技盤６の板厚範囲内で下側の第２案内通路５６に合流させてもよい。この場合、第１案内通路５５の後方通路部５５ｂは第２案内通路５６と共通となる。これにより、遊技盤６の裏側への突出部分の上下方向寸法をより小さくできる。
【００６０】
遊技領域７内の各遊技部品の配置は任意である。また、下部入賞ユニット（入球ユニット）１７の凹入部５２内を含め、遊技領域７内の遊技釘４０の配置も任意である。
【００６１】
また、本発明はパチンコ機に限らず、アレンジボール機等の他の種弾球遊技機に対しても同様に適用可能である。
【符号の説明】
【００６２】
６　遊技盤
６ａ　装着孔
７　遊技領域
１３　アウト口
１７　下部入賞ユニット（入球ユニット）
３２　大入賞手段
３６　普通入賞手段
３７　第１特別図柄始動入賞手段（上入球手段）
３８　開閉爪（開閉手段）
３９　第２特別図柄始動入賞手段（下入球手段）
４８　ベース板（ベース体）

５５　　第１案内通路
５５ａ　縦通路部
５５ｂ　後方通路部
５６　　第２案内通路
６１　　装飾部材

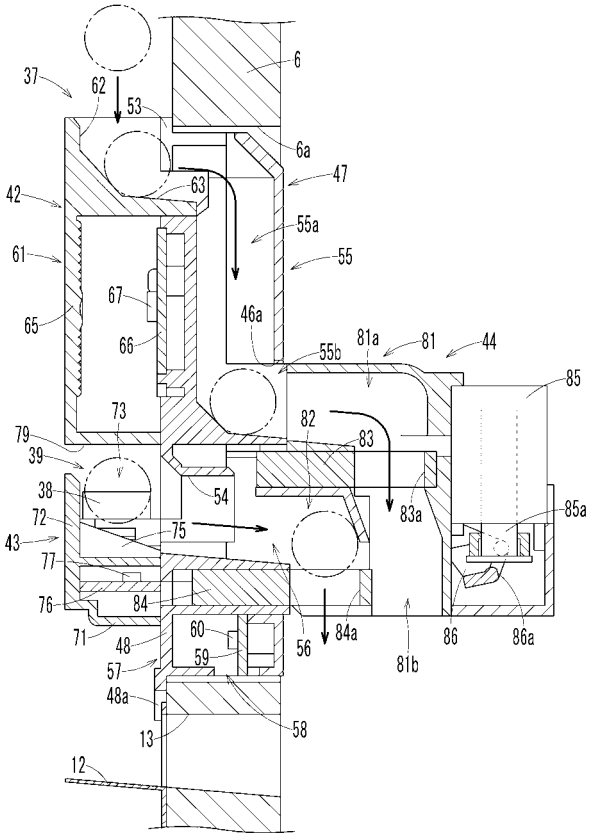
【図１】



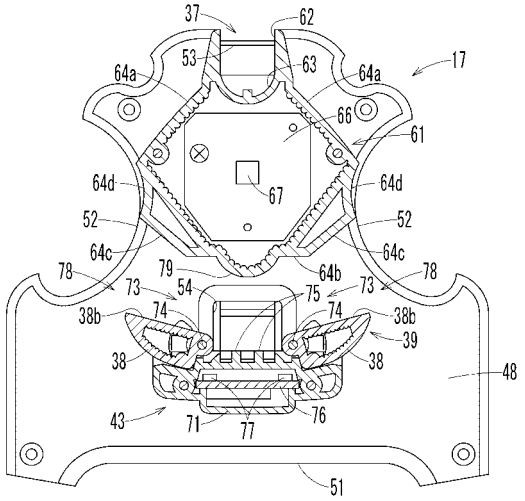
【図２】



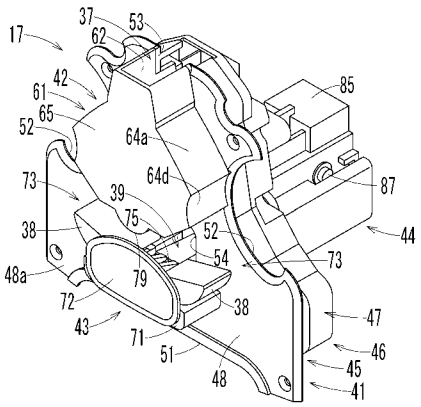
【図３】


37
62
53
6
6a
47
42
63
55a
61
55
67
65
46a
66
55b
81a
81
44
85
73
82
79
83
39
54
38
83a
85a
72
75
43
77
84
76
60
71
48
56
84a
86
86a
59
57
81b
48a
58
13
12

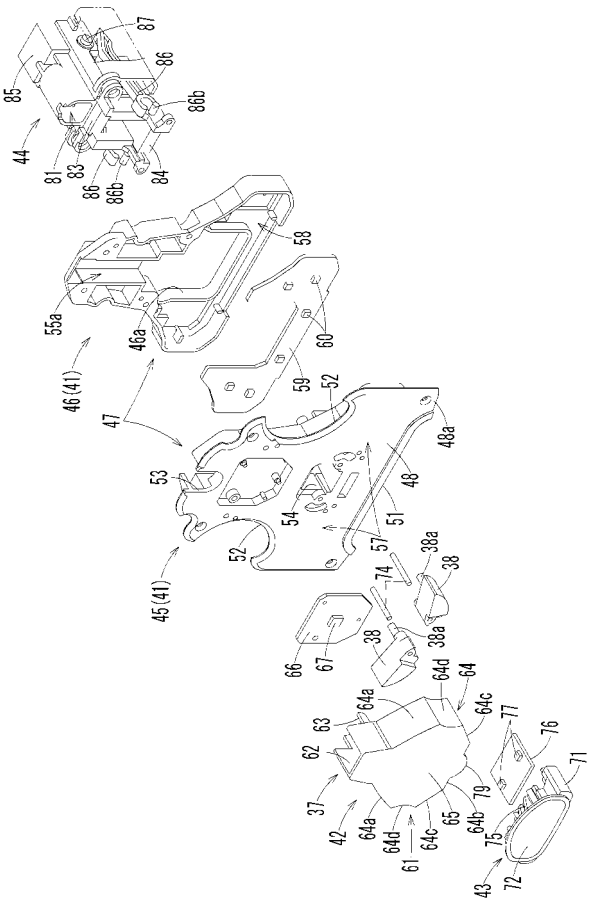
【図４】


37
62
53
63
64a
64a
17
66
61
64d
67
64d
52
52
64c
64c
78
79
64b
78
73
54
75
73
38b
74
74
38b
39
38
38
48
43
71
77
76
51

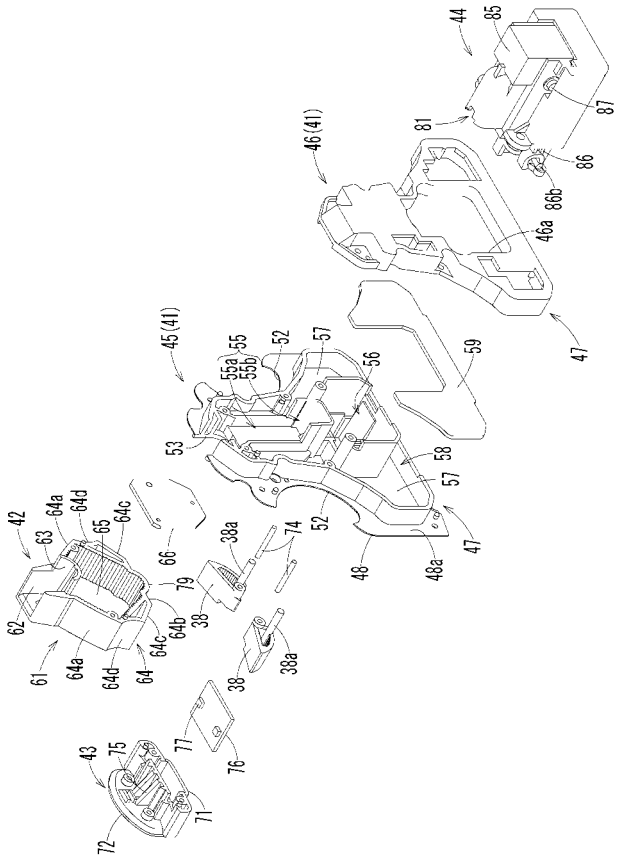
【図５】


37
53
17
62
42
85
61
65
64a
52
64d
87
73
39
75
44
38
52
54
73
48a
79
72
38
47
43
71
46
51
45
48
41

【図６】


87
85
86
86b
44
81
83
86
86b
84
58
55a
46a
60
46 (41)
59
52
47
48a
53
48
54
51
57
52
38a
38
45 (41)
74
38
38a
66
67
64d
64
64a
64c
77
63
76
62
71
37
79
64a
64d
64c
65
64b
75
42
61
43
72

【図７】


44
85
87
81
86
86b
46(41)
46a
47
45(41)
55
55a
55b
52
57
56
59
53
58
57
52
47
48
48a
42
63
64a
64d
65
64c
66
38a
74
79
38
62
64b
64c
61
64a
64d
64
38
38a
77
76
43
75
71
72